

JASMA 会報

2021年10月発行（季刊）一般社団法人日本縫製機械工業会

CONTENTS

第167回理事会(ウェブ会議)開催	1
特別講演会(ウェブ会議)開催	2
2021年度第1回及び第2回共通基盤ネットワーク研究会(ウェブ会議)開催	3
第42回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集締め切り	3
「2021年度経済産業省子どもデー」への参加	4
JASMA部会・委員会・WGの紹介	4

第167回理事会(ウェブ会議)開催

(2021年10月8日(金)、14:00～、航空会館)

当工業会の第167回理事会を航空会館(東京都港区新橋)で開催し、すべての議案を審議しました。10月に入って、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言は解除されましたが、遠方から出席される役員を考慮して、会場とオンラインによるウェブ会議の両方を活用し、理事16名に対し12名の出席で過半数となり、理事会は成立しすべての議題について承認可決及び報告が行われました。冒頭に内梨会長より以下の挨拶がありました。

<挨拶要旨>

世界経済は、国や地域差はあるものの、新型コロナウイルス感染症による危機的な状況からは改善してきており、本年第2四半期のGDP成長率は改善が見られている。今後は、地政学リスクや金融リスクに加え、変異株再拡大による影響、半導体等の部品・原材料の供給不足や価格上昇、東南アジア地区でのロックダウンの影響にも注視する必要がある。一方、国内においては、9月の月例経済報告は、「景気は、持ち直しの動きがあるものの、このところそのテンポが弱まっている」となっており、今後は、コロナ対策を継続・強化し



つつ、海外渡航の制限緩和などに加え、新たな景気対策に期待している。縫製機械業界においては、巣ごもり需要による家庭用ミシンの生産・販売に



内梨 晋介 会長

一服感があるが、海外縫製工場ではニット市場を中心に、生産・販売が感染前の水準に戻りつつある。生活必需品である衣料品の需要は必ず存在することもあり、ネット販売の強化、縫製業界自からのブランド品製造・販売など新たなアパレル業界の取り組みも始まっており期待したい。また、人件費の上昇、人材難による自動化等の生産性向上ニーズも着実に高まっている。

このような中で当工業会の重要な事業の一つは「展示会事業」で、JIAM展は新たにJIAM2022として、2022年11月30日(水)から12月3日(土)までインテックス大阪で開催することとなり、新たにテーマ名を「JIAMからつながる...～次世代技術と匠の技のコラボレーション～」として活動を開始しており、これまでと同様に、日本の先進技術と匠の技を組み合わ

せた製品やソリューションを世界に発信し、多くの出展者、来場者に来ていただけることを確信している。

二つ目は「共通基盤ネットワーク研究会」で、本年度は幅広く共通的な課題や新たな技術を調査するため専門家による講演会を実施し、第1回は9月14日(火)に、「DXの本質と取組みのポイント」をテーマに専門家のお話をいただき、第2回は10月27日(水)に「セキュリティ対策について」のテーマで同様に開催した。

三つ目は「ソーイングの普及促進」で、第42回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールの作品を募集中だが、コロナ禍や台風、集中豪雨等の影響により学校教育の制約を受け、作品応募状況が心配であったが、徐々に好調になり、引き続き関係者への周知のご協力をお願いしたい。本年も4月の日本ホビーショーが中止、8月の霞が関子どもデーがオンライン開催になり、ミシンを使ったモノ作りの体験学習ができなかったが、家庭でのマスクやエコバッグ作りなど新たなニーズも生まれて、このモノ作りの広がりを継続していくために、作品コンクール事業や情報マガジン「ソーイング大好き」を更に普及させていくつもりである。

ご来賓として経済産業省 製造産業局 産業機械課の

横山博之課長補佐殿にご臨席いただき、更に岡田 淳係長殿にオンラインで参加していただき、令和4年度経済産業政策の重点他についてご説明いただきました。議事の概要は以下のとおりです。

議題1. ～議題4. 2021年度上期事業概要、2021年度下期の事業、JIAM展、共通基盤ネットワーク研究会の取り組みについては、原案どおり承認可決されました。

議題5. ～議題6. 今後のスケジュール、その他について報告が行われました。

今後の主要な行事等は以下のとおりです。

注) 今後の新型コロナウイルス感染症の状況により見直す場合があります。

会議・行事名等	日時・時間・場所	議題他
正副会長会議	2022年1月17日(月) 11:30～13:00 日本工業倶楽部	①2021年度予算執行状況について ②2022年度予算について ③第42回ホームソーイング 小・中・高校生作品コンクール事業について 他
2022年新年賀詞交歓会	2022年1月17日(月) 13:30～15:00 日本工業倶楽部	新年賀詞交歓会
正副会長会議	2022年3月5日(土) 10:00～11:00 日本工業倶楽部	①第168回理事会の審議・報告事項他
第168回理事会	2022年3月5日(土) 11:10～13:00 日本工業倶楽部	①2021年度事業報告・決算報告 ②2022年度事業計画・収支予算 ③JIAM展について 他
第42回ホームソーイング 小・中・高校生作品コンクール 入選作品表彰式	2022年3月5日(土) 13:30～15:00 日本工業倶楽部	入選作品表彰式・受賞者交流会 他

特別講演会(ウェブ会議)開催

2021年10月8日(金)、16:00より航空会館(東京都港区新橋)を拠点にして、オンラインによる講演会を開催しました。講師は、東京農工大学大学院 工学部産業技術専攻教授 伊藤 伸(いとう しん)氏で、テーマは「新規事業を育む創造力発揮の条件」で、伊藤氏の経験に基づく、新規事業の難しさや成功事例を基に、内部資源である「知識」と外部資源である「M&Aの活用」に触れながらお話をいただいた後、質疑応答があり有意義な講演会となりました。当日は理事、監事をはじめ、会員代表者、報道機関、事務局等を含めて32名が出席しました。



2021年度第1回及び第2回共通基盤ネットワーク研究会（ウェブ会議）開催

2021年9月14日（火）に2021年度第1回共通基盤ネットワーク研究会を、更に同年10月27日（水）に第2回研究会をいずれも航空会館（東京都港区新橋）で開催しました。

両日ともオンラインで多くの関係者が参加し、ご来賓とし

て経済産業省より、製造産業局 産業機械課から横山博之課長補佐殿、岡田 淳係長殿にご出席いただき盛況に行われました。開催内容は以下のとおりです。

●2021年度第1回共通基盤ネットワーク研究会

日 時：2021年9月14日（火）

場 所：航空会館

テーマ 「DX（デジタル・トランスフォーメーション）の本質と取組みのポイント」

講 師 東京通信大学 情報マネジメント学部 学部長 教授 前川 徹 氏（本研究会座長）

●2021年度第2回共通基盤ネットワーク研究会

日 時：2021年10月27日（水）

場 所：航空会館

テーマ 「生産設備の制御システムにおいて検討すべきセキュリティ脅威と脆弱性対策」

講 師 独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

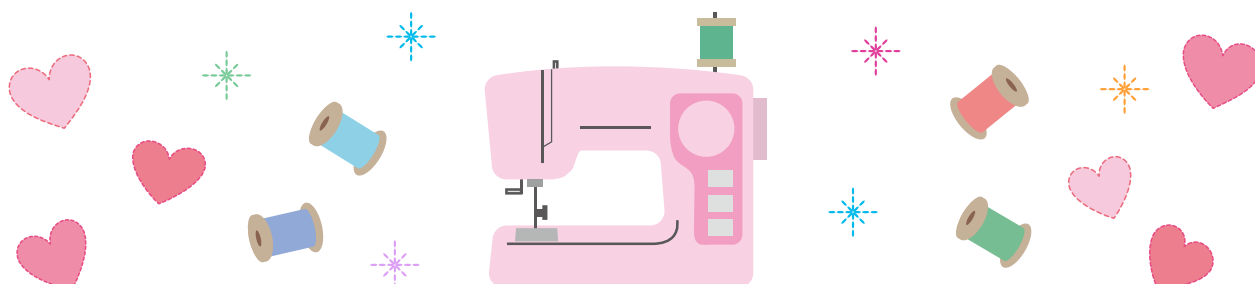
セキュリティセンター セキュリティ対策推進部 脆弱性対策グループ 柴本 憲一 氏



第42回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集締め切り

全国の小・中・高校生を対象とした第42回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールの作品募集は10月29日（金）で締め切り、多くの作品が寄せられました。関係各位のご協力に厚く感謝いたします。今後は12月に開催する第一次、第二次審査会で入選作品が決定されます。

入選作品表彰式はオンライン参加も含めて検討しており、2022年3月5日（土）、13時30分より日本工業倶楽部（東京都千代田区丸の内）で開催する予定ですのでご期待下さい。



「2021年度経済産業省子どもデー」への参加

毎年、夏休み期間中に行われる「こども霞が関見学デー」は、経済産業省をはじめとした府省庁等が連携して、業務の説明や省内見学などを行うことにより、親子の触れ合いを深め、子どもたちが広く社会を知る社会活動の機会とするとともに、府省庁等の施策に対する理解を深めてもらうことを目的として実施しています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度は中止になりましたが、本年度はオンライン形式での開催となり、当工業会はオンラインコンテンツの提供による参加となりました。コンテンツの内容は、パワーポイントで作成した既存の教材「学んで作ってたのしいミシン」の内容を見直し、掲載写真を新しくして、ナレーションを加えて子どもにも分かりやすく編集しました。「学んで作ってたのしいミシン」は当工業会のホームページで閲覧できます。



JASMA部会・委員会・WGの紹介

当工業会は各事業活動を進めるに当たり、担当する部会、委員会、WG（ワーキンググループ）（以降「部会等と呼ぶ」）で事業の目的、内容、進め方等検討して、理事会、総会で承認後、各事業を進めています。現在、当工業会では14の部会等があり、今後、それぞれの活動内容等を紹介することとし、本会報では以下の部会等を紹介いたします。

(1) 総務企画委員会

正副会長会社7社からなる委員構成により、年4回開

催する正副会長会議の前に開催して、正副会長会議での審議・報告事項を事前に検討しています。

(2) JASMA会報編集WG

総務企画委員会の下、6社からなる委員構成により、年4回（1月号、4月号、7月号、10月号）発行するJASMA会報の内容、編集等について検討し、主にメールのやり取りによる電子会議で行っています。

編集後記

今年もコロナに振り回された一年でしたが、明るい話題としては大リーグの大谷選手の活躍ではないでしょうか。

彼の並外れた二刀流の技術のみならず、超一流の人間力に魅了されて多くの皆さんが勇気と希望を頂いたと思います。

コロナ感染も落ち着きを見せ始め、この小康状況が継続することを願うばかりです。

最後に工業会で総務業務を一手に担当されてきた野村さんが、この10月末に退職されます。

今までの業界へのご貢献に感謝するばかりです。本当にありがとうございました。

(I.T)

JASMA 会報

Vol.18 No.3 2021年10月29日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会
発行責任者：湯原 孝志

〒105-0004
東京都港区新橋5-25-3 第2一松ビル2階
TEL. 03-6435-8190 FAX. 03-6435-8192

URL <https://jasma.or.jp>

Eメール info@jasma.or.jp

本JASMA会報は、発行後、当工業会ホームページに掲載しております。